

■ イスカリオテのユダとイエス様

イスカリオテのユダは祭司長たちにイエス様を引き渡すと約束して、銀貨30枚を受け取っていました。イエス様はユダの秘密を知っていましたが、最後まで公にはしませんでした。

イエス様は、ユダを他の弟子たちと同じく愛しておられたので、弟子たちは何も気が付きませんでした。ご自分を裏切る人を守り、謙遜に仕えたのです。

■ メッセージのポイント

(1) 一人のための忠告 - 「あなたがたのうちの一人が、わたしを裏切ります。」と、イエス様が忠告していたのは、一人のための愛の訴えでした。

イエス様は、弟子の皆に語っていましたが、実はユダだけが分かる言葉で彼に訴えていたのです。

(2) 最後の忠告 - イエス様がユダに与えた、浸したパン切れは、最後の愛の訴えでした。

また、そのパン切れは、友への友愛のしるしでもありました。イエス様はユダに、「心に決めたことを、すぐしなさい。」と言って、主導的な権威を示されました。